

プログラムの概要

全ての医師にとって、産婦人科の知識、とくに、妊娠・分娩に関わる知識は、女性の患者さんに、適切な医療を提供するために必要不可欠です。また、当院は不妊症に対する診療が盛んであり、生殖医療に関する知識・技術を深めることができます。当院の卒後臨床研修プログラムでは、必修研修（4週間）と、さらに産科、婦人科、またはより進んだ産婦人科研修を選択することができます。

対象	プログラムの内容	期間
1)全研修医	産婦人科の必修/選択研修	4～48 週間
2)希望者 （産婦人科重点研修コース）	産婦人科グレードアップ研修 希望により内容を調整	8～48 週間

アピールポイント

山梨大学附属病院産婦人科は、山梨県内唯一の大学附属病院として、地域のメディカルセンターの機能を果たしています。当科の病床数は49 床（産科23+婦人科26）で、年間の分娩数・手術件数は国立大学附属病院のなかでもトップレベルにあります。症例数だけでなく、内容的にもさまざまな症例を経験することができます。また、私達産婦人科の最大の特徴は、生殖医療が盛んであり、体外受精の採卵数は国立大学附属病院のなかでもトップレベルにあります。2024年から生殖医療チームを発足させました。希望者には生殖医療の研修を行うことも可能です。

当科における研修の特徴は、研修用シミュレーター機材を用いて、「体験型」の研修を積極的に取り入れていることです。シミュレーター研修は、初期段階における手技習得や、より洗練された手技習得を行う場合に非常に有効であり、また、上級医の助言を時期を逸することなく得られることが最大のメリットです。個人の自由時間に行えることもメリットのひとつです。当科で使用している研修用シミュレーター機材をご紹介します。

- ・婦人科内診用シミュレーター
- ・産科内診用シミュレーター
- ・産科分娩助・急産壁娩用シミュレーター
- ・産科CTG診断シミュレーター
- ・新生児蘇生シミュレーター
- ・経腹・経膈超音波用シミュレーター
- ・腹腔鏡シミュレーター
- ・ダ・ヴィンチ シミュレーター



超緊急帝王切開シミュレーション
(産婦人科、麻酔科、小児科、手術部、
4北病棟が合同で実施)



手術研修

具体的な研修内容

山梨大学附属病院産婦人科では、より多くの症例を主治医として管理し、豊富な実地臨床の経験を蓄積していただきます。

産科では、常時5～10例の妊婦あるいは褥婦を担当し、合併症妊婦の管理、担当症例の分娩、産科手術への参加、産褥期管理、新生児管理を研修していただきます。さらに、母体搬送、産褥搬送など産科救急の管理についても研修していただきます。

婦人科では常時10例前後の入院患者を担当し、良性疾患、悪性腫瘍、不妊症、内分泌疾患など、婦人科疾患全般にわたって、研修していただきます。週約8例の手術（腹腔鏡下手術、ロボット手術、開腹手術、腔式手術）に加わり、悪性腫瘍については手術だけでなく、放射線治療、化学療法についても研修していただきます。また、特に産婦人科に興味がある方で希望者には生殖医療に関する研修を行うことも可能です。

指導医は、10年以上の産婦人科臨床経験を有し、かつ産婦人科専門医を有する医師3～4名が1グループとなり、それぞれグループあたり、1もしくは2名の研修医をきめ細かく丁寧に指導いたします。

週1回、当教室全体で行われる臨床検討会に参加し、先端的な医療を学んでいただきます。産科研修では、週1回小児科医、NICUスタッフと合同で行われる周産期カンファレンスに参加し、周産期・新生児管理についてより高度な研修を深めていただきます。婦人科研修では週1回の教室全体のカンファレンスで、症例毎にCT・MRIなど画像の読影、細胞診断、組織診断、治療法について総合的に学び、さらに毎日朝、夕に実施されるグループ毎のカンファレンスに参加して、高度で実践的な研修を深めていただきます。